

## 第3章 研究のまとめ

### 1. 遊び込む中の学びについて

今年度は、遊び込む中で見られる学びを明らかにするために、第2章で示したように、全20事例中100の学びについて考察してきた。また、事例の中で見られた学びを①身体的側面 ②知的側面 ③心的側面 ④社会的側面の4つの側面で分類することを試みた。分類を進める中で、例えば、3歳児 事例3-2-③（P. 4）のように社会的側面と知的側面に学びの姿が重なるもの等、遊び込む中の学びには4つの側面の様々な要素を含むものが見られた。そのため、遊び込む中にはどのような学びがあるのかを明らかにする際には、4側面での分類では考察が難しく、さらに細かく見ていく必要があることが分かった。そこで、遊び込む中の学びについて、再度分類整理することとした。

事例を分類するにあたり、まず、第2章であげられた学びを、内容が似ているものや示しているものが近いものでの仕分けを試みた。その結果、遊び込む中の学びは「ひと」とのかかわりからの学び、「もの」とのかかわりからの学び、「こと」とのかかわりからの学びの3つがあるのではないかと考えた。また、その中には「思考」「知識・理解」「感情」「表現」に関する学びが含まれているのではないかと考えることができた。そこで、遊び込む中の学びはどのようなものかを明らかにするために、「ひと」「もの」「こと」と「思考」「知識・理解」「感情」「表現」との関係について分析していくこととした。

### 2. 分析と結果

#### 分析Ⅰ 遊び込む中の学び

- ・遊び込む中の学びの中には「ひと」とのかかわりからの学び、「もの」とのかかわりからの学び、「こと」とのかかわりからの学びがあることを明らかにする。
- ・上記の3つの学びの中に「思考」に関する学び、「知識・理解」に関する学び、「感情」に関する学び、「表現」に関する学びが含まれていることを明らかにする。

#### 分析方法 以下の2点について着目し分類する。

- ・遊び込む中の学びを、「ひと」とのかかわりからの学び、「もの」とのかかわりからの学び、「こと」とのかかわりからの学びに着目して3つに分類する。

また、「ひと」「もの」「こと」とのかかわりからの学びについては以下の通り定義し分類を行った。

・「ひと」とのかかわりからの学び
自分自身や他者（友達や教師）とのかかわりから学ぶこと
・「もの」とのかかわりからの学び
遊具や素材，材料とのかかわりから学ぶこと
・「こと」とのかかわりからの学び
その場の様子や状況から学ぶこと

・ 3つに分類された学びを，「思考」に関する学び，「知識・理解」に関する学び，「感情」に関する学び，「表現」に関する学びに着目し分類を行うが，上記の3つの学びと「思考」「知識・理解」「感情」「表現」との関係を示した表1のA~Lで分類する。

「思考」「知識・理解」「感情」「表現」については以下の通り定義した。

・ 思考
自分なりの思いをもったり考えたりして，自分の遊びに活かしていくこと
・ 知識・理解
遊びの中で新たな知識を得たり，遊びで生じた事象を理解したり知識としたりしていくこと
・ 感情
喜怒哀楽を感じたり，興味関心をもったりすること
・ 表現
自己表出したり，相手に伝えたりすること

【表1 「ひと」「もの」「こと」と「思考」「知識・理解」「感情」「表現」との関係】

	思考	知識・理解	感情	表現
ひと	A	B	C	D
もの	E	F	G	H
こと	I	J	K	L

表1のA~Lについては，以下の通りとする。

**A 「ひと」とのかかわりからの学びで，「思考」に関する学び**

自分自身や他者とのかかわりから，自分なりの思いをもったり考えたりして，自分の遊びに活かしていくこと

**B 「ひと」とのかかわりからの学びで、「知識・理解」に関する学び**

自分自身や他者とのかかわりから、遊びの中で新たな知識を得たり、遊びで生じた事象を理解したり知識としたりしていくこと

**C 「ひと」とのかかわりからの学びで、「感情」に関する学び**

自分自身や他者とのかかわりから、喜怒哀楽を感じたり、興味関心をもったりすること

**D 「ひと」とのかかわりからの学びで、「表現」に関する学び**

自分自身や他者とのかかわりから、自己表出したり、相手に伝えたりすること

**E 「もの」とのかかわりからの学びで、「思考」に関する学び**

遊具や素材、材料とのかかわりから、自分なりの思いをもったり考えたりして、自分の遊びに活かしていくこと

**F 「もの」とのかかわりからの学びで、「知識・理解」に関する学び**

遊具や素材、材料とのかかわりから、遊びの中で新たな知識を得たり、遊びで生じた事象を理解したり知識としたりしていくこと

**G 「もの」とのかかわりからの学びで、「感情」に関する学び**

遊具や素材、材料とのかかわりから、喜怒哀楽を感じたり、興味関心をもったりすること

**H 「もの」とのかかわりからの学びで、「表現」に関する学び**

遊具や素材、材料とのかかわりから、自己表出したり、相手に伝えたりすること

**I 「こと」とのかかわりからの学びで、「思考」に関する学び**

その場の様子や状況から、自分なりの思いをもったり考えたりして、自分の遊びに活かしていくこと

**J 「こと」とのかかわりからの学びで、「知識・理解」に関する学び**

その場の様子や状況から、遊びの中で新たな知識を得たり、遊びで生じた事象を理解したり知識としたりしていくこと

**K 「こと」とのかかわりからの学びで、「感情」に関する学び**

その場の様子や状況から、喜怒哀楽を感じたり、興味関心をもったりすること

## L 「こと」とのかかわりからの学びで、「表現」に関する学び

その場の様子や状況から、自己表出したり、相手に伝えたりすること

第2章であげた学びをA~Lに分類したものを以下に示す。

【表2 学びの分類】

事例	学び	分類
3-1	①興味をもったものにかかわり、自分なりの遊び方を見つけて楽しむ	G
	②身近な環境や教師に興味をもち、かかわる	C
		G
	③電車ごっこの場の雰囲気を楽しむ	K
	④場の状況に合わせて乗り降りすることを楽しむ	K
	⑤教師や友達と同じ動きをしたり、声を出したりすることを楽しむ	C
⑥教師や友達が自分の遊びに加わり、遊んでくれる嬉しさを感じる	C	
3-2	①自分なりに思いをもって遊ぼうとする	A
	②教師と安心してかかわる	C
	③教師に自分でつくることができた嬉しさを言葉で表現する	D
	④教師に認めてもらえた満足感を感じる	C
	⑤教師のまねをして型ぬきをする	K
	⑥教師のしていることをまねて一緒につくる	C
	⑦教師のしていたことをまねて自分でつくる	B
	⑧自分の見つけたオレンジ色の実を使って遊ぶことができた満足感を得る	G
3-3	①ジュニアブロックをお城に見えるように組み合わせる	H
	②友達と同じ場に集う心地よさを感じる	C
	③友達と同じものを身につけ、同じ場に集うことができることを楽しむ	C
	④自分の好きなことをして楽しむ	C
	⑤自分の生活経験を遊びに活かす	L
	⑥教師のまねをして友達に声をかける	D
3-4	①水溜まりには深い所と浅い所があることを知る	F
	②教師や友達のやっていることに興味をもちやってみる	C
	③足を動かすと足がうまっていくことを知り、してみる	F
		H
	④自分の感じたことを表現する	L
⑤自分なりにイメージを膨らませて表現する	D	

3-5	①セロハンテープではうまくつけられないことを知る	F
	②自分の経験から提案する	D
	③できあがった満足感を得る	G
	④ガムテープのよさを知る	F
	⑤遊びに必要なものを自分なりに思いをもってつくる	A
3-6	①教師の言葉を聞き、友達のドングリに興味をもつ	C
	②どのように転がるか興味をもつ	G
	③状況を判断する	I
	④教師や友達とつくった場で一緒に遊ぶことを楽しむ	C
	⑤教師のまねをして言葉を発する	D
	⑥順番のよさを知る	J
4-1	①繰り返し行う中で、ものの特性や変化に気づく	F
	②友達と遊ぶ楽しさを感じる	C
4-2	①年長児の虫の捕まえ方を見て、まねをする	B
	②周りの状況を見て考え、必要な役割を見つけて行動する	I
	③達成感を得、共有する	C
4-3	①友達が自分の考えに興味をもってくれたことを喜ぶ	C
	②友達と一緒に作りながら、同じ思いをもって遊ぶ	C
	③友達と一緒に遊びの場をつくる	C
	④自分の考えていた遊びが実現した喜びを感じる	C
4-4	①自分の思いを実現するための方法を考える	A
	②自分のアイデアが認められた嬉しさを感じる	C
4-5	①自分のしたいことを主張する	D
	②自然物に愛着をもち、身近に感じる	G
	③友達に自ら思いを伝える	D
	④同じことをして遊ぶ友達の存在を喜ぶ	C
	⑤友達に教える	D
4-6	①友達と共通の思いをもって遊ぶ楽しさを味わう	C
	②赤土の感触を楽しむ	G
	③友達と一緒に楽しく遊ぶための方法を考える	A
4-7	①自分の思いを実現させるための方法を考える	A
	②友達と呼応しながら遊びを進める	C

	③友達と一緒にしたい遊びをするために考える	A
	④ものを操作しながら考える	E
5-1	①つくったものの使い方を考える	E
	②友達とイメージを共有して遊ぶ楽しさを感じる	C
	③友達のイメージを理解し、違う役割で参加する	A
	④自分の思いや考えを受け入れてもらえたうれしさを味わう	C
	⑤友達と集って楽しむ	C
	⑥ピクニックのイメージでなりきって楽しむ	K
	⑦つくったものに愛着をもつ	G
	⑧明日への見通しをもつ	I
5-2	①目的をもち、取り組む	A
	②色水づくりに必要な操作をする	F
	③目的に合わせた道具の使い方がわかる	F
	④量感をつかむ	F
	⑤色の出かたや濃さがわかり、必要なものと必要ではないものを選別する	F
	⑥自分の目的に合うものができたか確かめる	E
	⑦満足感・達成感を感じる	C
	⑧つくったものに愛着をもつ	G
5-3	①自分で考えて行動している	A D
	②友達の状況を見て協力する	I
	③友達が作業しやすいように考える	A
	④他児に思いを伝えて、自分のしようと思っていることを行う	A D
	⑤友達の思いを受け止めて行動する	A D
	⑥自分の思った通りにならないことを感じる	G
5-4	①コンサートに必要なものの見通しをもちながら準備を進める	I
	②聞いてもらう相手を意識した練習をする	A
	③その場に必要な動きを考え、声をかける	A D
	④演奏がどのようなになっているか確かめるために、演奏に加わらずに前に立つ	A
	⑤友達にアドバイスをしたり、それらを受け入れたりしながら演奏する	A D

5-5	①友達と共通の目的をもって遊ぶ	A
	②今の状況で水が流れるか予想し、流れるように考える	I
	③水が流れるように竹の樋の重なりや傾きを調節する	F
	④友達と声をかけ合いタイミングを合わせたり状況を伝えたりする	D
	⑤試した結果を見て、うまくいかないことに気づく	G
		J
⑥うまく水が流れたことに満足感をもつ	G	
5-6	①今までの生活や遊びを活かして声を掛け合う	D
	②場の使い方を考え友達に提案する	A
		D
	③友達の提案を受け入れて行動する	A
④自分達の役割を意識する声かけをする	D	
5-7	①次の活動を考えて、遊びの続きを考える	I
	②終わり方に折り合いをつける	I
	③最後まで自分の仕事を行う	I
	④決まった時間の中で、自分達のやりたいことをやりきった満足感を味わう	K

※分類が客観的に行われたことを保障するために Ericsson ら<sup>8)</sup> の示す以下の方法を用いた。

①分類方法を定義する ②2名以上の分析者がその定義に従って分類する ③分析者の分類結果が8割以上一致していれば、正しい分析と認めることができる。

## 結果 I

・遊び込む中の学びは、「ひと」とのかかわりからの学び、「もの」とのかかわりからの学び「こと」とのかかわりからの学びの3つの学びに分類することができた。このことから、遊び込む中には「ひと」「もの」「こと」とのかかわりからの学びがあることが明らかとなった。分類したものを表3 (P. 35, 36) に示す。

・「ひと」とのかかわりからの学び、「もの」とのかかわりからの学び、「こと」とのかかわりからの学びの3つに分類した学びについて、さらに「思考」「知識」「感情」「表現」に関する学びに分類することができた。このことから、「ひと」とのかかわりからの学び、「もの」とのかかわりからの学び、「こと」とのかかわりからの学びの中には、それぞれ「思考」「知識・理解」「感情」「表現」の4つの学びが含まれることが明らかとなった。

以上のように、遊び込む中の学びには「ひと」「もの」「こと」とのかかわりからの学びがあり、それぞれ「思考」「知識・理解」「感情」「表現」についての学びが含まれていることが明らかとなった。

## 分析Ⅱ 自分自身での学びと他者とのかかわりからの学びの関係

遊び込む中の学びを「ひと」「もの」「こと」の3つに分類したところ、「ひと」とのかかわりからの学びの数が全体のおよそ60%と最も多かった。そこで、「ひと」とのかかわりからの学びと「自分自身」「他者（友達，教師）」との関係についてどのような傾向があるのかを明らかにする。

### 分析方法

「ひと」とのかかわりからの学びを「自分自身」での学び、「他者とのかかわり」からの学びに着目して2つに分類する。

「自分自身」での学び、「他者とのかかわり」からの学びについては以下の通り定義した。

<b>・「自分自身」での学び</b>
遊びの中で、自分自身で「思考」「感情」「知識・理解」「表現」について学ぶこと
<b>・「他者とのかかわり」からの学び</b>
遊びの中で教師や友達とかかわることで「思考」「知識・理解」「感情」「表現」について学ぶこと

### 結果Ⅱ

「ひと」とのかかわりからの学びを「自分自身」での学び、「他者とのかかわり」からの学びに分類したところ、以下のような傾向があることが明らかになった。分類したものは表4（P. 37, 38）に示す。

・「ひと」とのかかわりからの学びでは、図1に示した通り、「他者とのかかわり」からの学びが全体のおよそ83%と多くなる傾向があることが明らかとなった。

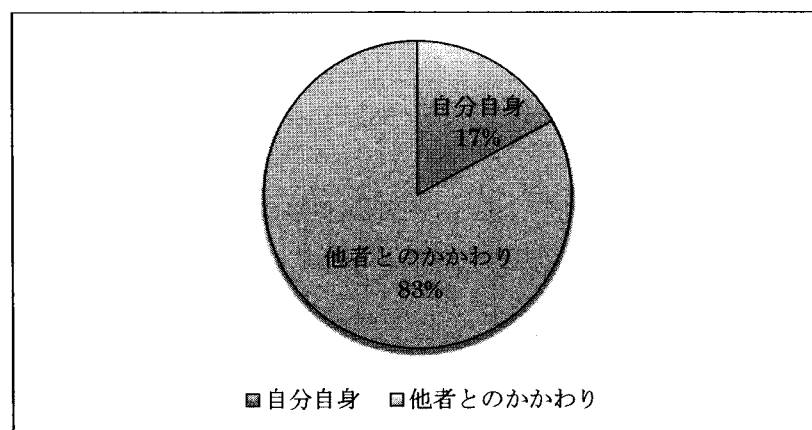


図1 「ひと」とのかかわりからの学びの中の「自分自身」での学びと「他者とのかかわり」からの学びの割合



### 分析Ⅲ 「他者とのかかわり」からの学びの中の4つの学びの割合

「他者とのかかわり」からの学びが多くある傾向が明らかになったため、「他者とのかかわり」からの学びの中では、「思考」「知識・理解」「感情」「表現」のどの学びが多く含まれているのかを明らかにする。

#### 分析方法

「他者とのかかわり」からの学びを分析Ⅰで用いた「思考」「知識・理解」「感情」「表現」で分類する。

#### 結果Ⅲ

分類した結果、以下のことが明らかとなった。

・「他者とのかかわり」からの学びでは、図2に示す通り、「感情」に関する学びが全体のおよそ43%であり、他の学びと比べて多く含まれる傾向があることが明らかとなった。

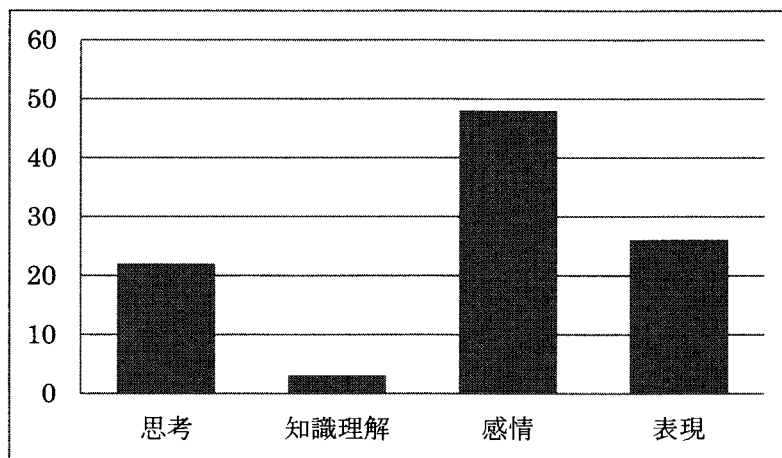


図2 「他者」とのかかわりからの学びに含まれる4つの学びの割合

以上のように、遊び込む中では、「他者とのかかわり」から「感情」に関する学びが多い傾向があることが明らかとなった。

## 3. 本研究のまとめ

遊び込む中の学びを分析した結果、次のことが明らかとなった。

・遊び込む中の学びには「ひと」とのかかわりからの学び、「もの」とのかかわりからの学び、「こと」とのかかわりからの学びがあり、それぞれ「思考」、「知識・理解」、「感情」、「表現」に関する学びが含まれている。また、遊び込む中では、「他者とのかかわり」から「感情」に関する学びが多く含まれる傾向が明らかとなった。「他者とのかかわり」「感情」について、津金（2014）は「幼児期にふさわしい学び」として、学びが生じる状況には、幼

児の満足感や達成感が幼児の心を強く揺さぶること、またそれらは、他者とのかかわりから互いに影響しあいながら学び合う関係の深まりがあったから<sup>9)</sup>としている。津金が示唆する通り、本研究で示した幼児が「他者とのかかわり」から「感情」に関する学びが多いということは遊び込む中の学び自体が「幼児期にふさわしい学び」であると捉えることもできる。

## 4. 本研究の結論

遊び込む中では、他者とのかかわりを通して喜怒哀楽や興味関心をもつなどの、感情に関する学びが多くあることが明らかとなった。

## 5. 今後の課題

本研究では、遊び込む中の学びについて、「ひと」とのかかわりからの学び、「もの」とのかかわりからの学び、「こと」とのかかわりからの学びの、一側面から明らかにしてきた。しかしながら園で多様にある遊びの中の20事例と限定された遊びの姿からの考察であった。そのため本研究で見られた学びをより確かなものにしていくために、これからの保育の中でも遊び込む姿を意識し、その中に現れる学びについて探っていく必要がある。

また、本研究で明らかとなった学びを小学校以降の学習や生活につなげ、小学校との円滑な接続を図ることが必要である。そのために本研究で明らかになった幼児の学びについて発信し、小学校以降の学びにつなげていけるようにしていく必要があると考える。

### 【参考・引用文献】

- 1) 丸野俊一：児童心理「遊び体験が育むもの」、金子書房、1995
- 2) 佐伯 胖：「わかり方」の探求、小学館、2004
- 3) 金沢大学附属幼稚園研究紀要第52集、2006
- 4) 文部科学省：幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について（報告）、2010
- 5) 山名裕子：秋田大学教育文化学研究紀要 教育科学部門 66 p.p55-66、2011
- 6) 無藤 隆：幼稚園じほう「幼小の学びをつなぐ」、全国国公立幼稚園長会、2012
- 7) 秋田喜代美：保育の心もち、ひかりのくに、2009
- 8) Ericsson, K.A. & Simon, H.: *Protocol analysis-Verbal reports as data*, MIT Press, 1984
- 9) 津金美智子：幼稚園じほう「幼児期にふさわしい生活と学びの再考」、全国国公立園長会、2014

【表3 「ひと」「もの」「こと」とのかかわりからの学び】

	思考			知識・理解		感情			表現			
ひと	自分なりに思いをもつて遊ぶとする(3-2①)	遊びに必要なものを自分なりに思いをもつてつくる(3-5⑤)	自分の思いを実現するための方法を考える(4-4①)	教師のしていたことをまねて自分でつくる(3-2⑦)	年長児の虫の捕まえ方を見て、まねをする(4-2①)	身近な環境や教師に興味をもち、かかわる(3-1②)	教師や友達と同じ動きをしたり、声を出してくれる嬉しさを感じる(3-1⑤)	教師や友達が自分の遊びに加わり、遊んでくれる嬉しさを感じる(3-1⑥)	教師と安心してかかわる(3-2②)	教師に自分でつくることができた嬉しさを言葉で表現する(3-2③)	教師のまねをして友達に声をかける(3-3⑥)	自分なりにイメージを膨らませて表現する(3-4⑤)
	友達と一緒に楽しく遊ぶための方法を考える(4-6③)	自分の思いを実現させるための方法を考える(4-7①)	友達と一緒にしたい遊びをするために考える(4-7③)			教師に認めてもらえた満足感を感じる(3-2④)	教師のしていることをまねて一緒につくる(3-2⑥)	友達と同じ場に集う心地よさを感じる(3-3②)	友達と同じものを身につけ、同じ場に集うことができることを楽しむ(3-3③)	自分の経験から提案する(3-5②)	教師のまねをして言葉を発表する(3-6⑤)	自分のしたいことを主張する(4-5①)
	友達のイメージを理解し、違う役割で参加する(5-1③)	目的をもち、取り組む(5-2①)	自分で考えて行動している(5-3①)			自分の好きなことをして楽しむ(3-3④)	教師や友達のやっていることに興味をもちやってみる(3-4②)	教師の言葉を聞き、友達の「ドンブ」に興味をもつ(3-6①)	教師や友達とつくった場で一緒に遊ぶこと(4-5④)	友達に自ら思いを伝える(4-5③)	友達に教える(4-5⑤)	自分で考えて行動している(5-3①)
	友達が作業しやすいように考える(5-3③)	他児に思いを伝えて自分のしようと思っていることを行う(5-3④)	友達の思いを受け止めて行動する(5-3⑤)			友達と遊ぶ楽しさを感じる(4-1②)	達成感を得、共有する(4-2③)	友達が自分の考えに興味をもってくれたことを喜ぶ(4-3①)	友達と一緒につくりながら、同じ思いをもって遊ぶ(4-3②)	他児に思いを伝えて自分のしようと思っていることを行う(5-3④)	友達の思いを受け止めて行動する(5-3⑤)	その場に必要なきを考慮し、声をかける(5-4③)
	聞いてもらう相手を意識した練習をする(5-4②)	その場に必要なきを考え、声をかける(5-4③)	演奏がどのようになっているか確かめるために、演奏に加わらずに前に立つ(5-4④)			友達と一緒に遊びの場をつくる(4-3③)	自分の考えていた遊びが実現した喜びを感じる(4-3④)	自分のアイディアが認められた嬉しさを感じる(4-4②)	同じことをして遊ぶ友達の存在を喜ぶ(4-5④)	友達にアドバイスをしたり、それを受け入れたりしながら演奏する(5-4⑤)	友達と声をかけ合いタイミングを合わせたり状況を変えたりする(5-5④)	今までの生活や遊びを活かして声を掛け合う
	友達にアドバイスをしたり、それを受け入れたりしながら演奏する(5-4⑤)	友達と共通の目的をもって遊ぶ(5-5①)	場の使い方を考え友達に提案する(5-6②)			友達と共通の思いをもって遊ぶ楽しさ味わう(4-6①)	友達と呼应しながら遊びを進める(4-7②)	友達とイメージを共有して遊ぶ楽しさを感じる(5-1②)	自分の思いや考えを受け入れてもらえたりうれしさを味わう(5-1④)	場の使い方を考え友達に提案する(5-6②)	自分達の役割を意識する声かけをする(5-6④)	
	友達の提案を受け入れて行動する(5-6③)					友達と集って楽しむ(5-1⑤)	満足感・達成感を感じる(5-2⑦)					
もの	ものを操作しながら考える(4-7④)	つくったものの使い方を考える(5-1①)	自分の目的に合うものができたか確かめる(5-2⑥)	水溜まりには深い所と浅い所があることを知る(3-4①)	足を動かすと足がうまくなっていくことを知り、試してみる(3-4③)	興味をもったものにかかわり、自分なりの遊び方を見つけて楽しむ(3-1①)	身近な環境や教師に興味をもち、かかわる(3-1②)	自分の見つけたオレンジ色の実を使って遊ぶことができた満足感を得る(3-2⑧)	できあがった満足感を得る(3-5③)	ジュニアブロックをお城に見るように組み合わせる(3-3①)	足を動かすと足がうまくなっていくことを知り、試してみる(3-4③)	
				セロハンテープではうまくつけられないことを知る(3-5①)	ガムテープのよさを知る(3-5④)	どのように転がるか興味をもつ(3-6②)	自然物に愛着をもち、身近に感じる(4-5②)	赤土の感触を楽しむ(4-6②)	つくったものに愛着をもつ(5-1⑦)			
				繰り返し行う中で、ものの特性や変化に気づく(4-1①)	色水づくりに必要な操作をする(5-2②)	つくったものに愛着をもつ(5-2⑧)	自分の思った通りにならないことを感じる(5-3⑥)	試した結果を見て、うまくいかないことに気づく(5-5⑤)				
				目的に合わせた道具の使い方がわかる(5-2③)	量感をつかむ(5-2④)							
				色が出かたや濃さがわかり、必要なものと必要ではないものを選別する(5-2⑤)	水が流れるように竹の綱の重なりや傾きを調節する(5-5③)							
こと	状況を判断する(3-6③)	周りの状況を見て考え、必要な役割を見つけ行動する(4-2②)	明日への見通しをもつ(5-1⑧)	順番のよさを知る(3-6⑥)	試した結果を見て、うまくいかないことに気づく(5-5⑤)	電車ごっこの場の雰囲気を楽しむ(3-1③)	場の状況に合わせて乗り降りすることを楽しむ(3-1④)	教師のまねをして型ぬきをする(3-2⑤)	ピクニックのイメージでなりきって楽しむ(5-1⑥)	自分の生活経験を遊びに活かす(3-3⑤)	自分の感じたことを表現する(3-4④)	
	友達の状況を見て協力する(5-3②)	コンサートに必要なものの見通しをもちながら準備を進める(5-4①)	今の状況で水が流れるか予想し、流れるように考える(5-5②)			うまく水が流れたことに満足感をもつ(5-5⑥)	決まった時間の中で、自分達のやりたいことをやりきった満足感を味わう(5-7④)					
	次の活動を考えて、遊びの続きを考える(5-7①)	終わりに折り返しをつける(5-7②)	最後まで自分の仕事を行う(5-7③)									

【表4 「ひと」とのかかわりからの学び】

	思考			知識・理解		感情			表現			
友 達	友達と一緒に楽しく遊ぶための方法を考える(4-6③)	友達と一緒にしたい遊びをするために考える(4-7③)	友達のイメージを理解し、違う役割で参加する(5-1③)	年長児の虫の捕まえ方を見て、まねをする(4-2①)	教師や友達と同じ動きをしたり、声を出したりすることを楽しむ(3-1⑤)	教師や友達が自分の遊びに加わり、遊んでくれる嬉しさを感じる(3-1⑥)	友達と同じ場に集う心地よさを感じる(3-3②)	友達と同じものを身につけ、同じ場に集うことができることを楽しむ(3-3③)	教師や友達のやっていることに興味をもちやってみる(3-4②)	友達に自ら思いを伝える(4-5③)	友達に教える(4-5⑤)	他児に思いを伝えて自分のしようと思っていることを行う(5-3④)
	友達が作業しやすいように考える(5-3③)	他児に思いを伝えて自分のしようと思っていることを行う(5-3④)	友達の思いを受け止めて行動する(5-3⑤)		教師や友達とつくった場で一緒に遊ぶことを楽しむ(3-6④)	友達と遊ぶ楽しさを感じる(4-1②)	達成感を得、共有する(4-2③)	友達が自分の考えに興味をもってくれたことを喜ぶ(4-3①)	友達と一緒につくりながら、同じ思いをもって遊ぶ(4-3②)	友達の思いを受け止めて行動する(5-3⑤)	その場に必要なきを考え、声をかける(5-4③)	友達にアドバイスをしたり、それらを受け入れたりしながら演奏する(5-4⑤)
	聞いてもらう相手を意識した練習をする(5-4②)	その場に必要なきを考え、声をかける(5-4③)	演奏がどのようなになっているか確かめるために、演奏に加わらずに前に立つ(5-4④)		友達と一緒に遊びの場をつくる(4-3③)	自分のアイディアが認められた嬉しさを感じる(4-4②)	同じことをして遊ぶ友達存在を喜ぶ(4-5④)	友達と共通の思いをもって遊ぶ楽しさ味わう(4-6①)	友達と声かけ合いながら遊びを進める(4-7②)	友達と声かけ合いタイミングを合わせた状況伝えたりする(5-5④)	今までの生活や遊びを活かして声を掛け合う(5-6①)	場の使い方を考え友達に提案する(5-6②)
	友達にアドバイスをしたり、それらを受け入れたりしながら演奏する(5-4⑤)	友達と共通の目的をもって遊ぶ(5-5①)	場の使い方を考え友達に提案する(5-6②)		友達とイメージを共有して遊ぶ楽しさを感じる(5-1②)	自分の思いや考えを受け入れてもらえうれしさを味わう(5-1④)	友達と集って楽しむ(5-1⑤)			自分達の役割を意識する声かけをする(5-6④)		
教 師				教師のしていたことをまねて自分でつくる(3-2③)	身近な環境や教師に興味をもち、かかわる(3-1②)	教師や友達が自分の遊びに加わり、遊んでくれる嬉しさを感じる(3-1⑥)	教師と安心してかかわる(3-2②)	教師に認めてもらえた満足感を感じる(3-2④)	教師のしていることをまねて一緒につくる(3-2⑥)	教師に自分でつくることのできた嬉しさを言葉で表現する(3-2③)	教師のしていたことをまねて自分でつくる(3-2⑦)	教師のまねをして友達に声をかける(3-3⑥)
					教師や友達のやっていることに興味をもちやってみる(3-4②)	教師の言葉を聞き、友達のドングリに興味をもつ(3-6①)	教師や友達とつくった場で一緒に遊ぶことを楽しむ(3-6④)			教師のまねをして言葉で表現する(3-6⑤)		
自 分	自分なりに思いをもって遊ぼうとする(3-2①)	遊びに必要なものを自分なりに思いをもってつくる(3-5⑤)	自分の思いを実現するための方法を考える(4-4①)		自分の好きなことをして楽しむ(3-3④)	自分の考えていた遊びが実現した喜びを感じる(4-3④)		満足感・達成感を感じる(5-2⑦)		自分なりにイメージを膨らませて表現する(3-4⑤)	自分の経験から提案する(3-5②)	自分のしたいことを主張する(4-5①)
	自分の思いを実現させるための方法を考える(4-7①)	目的をもち、取り組む(5-2①)	自分で考えて行動している(5-3①)							自分で考えて行動している(5-3①)		